

<同時資料提供先>

令和7年2月19日

合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・広島県政記者クラブ・山口県政記者会
山口県政記者クラブ・山口県政滝町記者クラブ・中国地方建設記者クラブ

令和6年度「手づくり郷土賞（国土交通大臣表彰）」の 認定証授与式を行います

「手づくり郷土賞」は、社会資本と関わりをもつ地域づくりの優れた取組を表彰し、好事例を広く全国に紹介することで、個性的で魅力ある地域づくりに向けた取組が進むことを目的として実施している国土交通大臣表彰です。（参考資料）

令和6年度手づくり郷土賞において、中国地方では一般部門から3件の取組が認定されました。これを受けて、以下のとおり認定証の授与式を行いますのでお知らせします。

なお、その他の1地区については、2/3に認定証の授与式を行いました。

<認定案件名：ながと大内湯けむり街道 ～今も昔も人と歴史を繋ぐ北道筋～（資料1）>

【授与式の日時、場所】

日時：令和7年2月26日（水）16：00～16：30

場所：ヤマネスタジアム俵山クラブハウス（〒759-4211 山口県長門市俵山 11356）

【出席者】

受賞団体：ながと大内湯けむり街道協議会

授与者：中国地方整備局 局長

<認定案件名：昔のR29、今のR29、これからのR29 ～これらすべてを大切に～（資料1）>

【授与式の日時、場所】

日時：令和7年2月28日（金）10：00～10：30

場所：OZ GARDEN（〒680-0521 鳥取県八頭郡八頭町安井宿 434）

【出席者】

受賞団体：R29活性化委員会、鳥取河川国道事務所

授与者：中国地方整備局 局長

■（参考）選定結果

部門	全国	中国
一般部門	11件	3件
大賞部門	2件	-

本省記者発表：https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000340.html

■取材について

取材を希望される場合は、別紙1「取材申込書」に必要事項を記載の上、事前に申し込みをお願いします。

【問い合わせ先】 国土交通省中国地方整備局 TEL (082) 221-9231（代表）
（担当）企画部 環境調整官 兼原 勝英（内線3114）
広域計画課 課長補佐 石田 高嗣（内線3212）

<申し込み先>

国土交通省中国地方整備局

企画部 広域計画課 課長補佐 石田 高嗣

企画部 広域計画課 係長 清水 翔地

F A X : 082-511-6359

E-mail : cgr-maintenance@cgr.mlit.go.jp**取材申込書**

取材を希望される方は、以下に必要事項をご記入の上、上記の申し込み先へ F A X 又はメールでお申し込みください。

令和 7年 2月 日

会社名・部署名・緊急連絡先（代表電話番号等）
（代表）取材者の役職・氏名・連絡先（携帯番号等）・来場予定人数

<連絡事項>

- 取材にあたっては係員の指示に従い、授与式の妨げにならないようご協力をお願いします。



<活動内容>

古来より温泉及び歴史的にも繋がっている俵山地区と湯本地区で活動する4つの団体が、連携した取組を出来るように平成22年に協議会を設立。2つの地区を繋ぐ古・現在・未来の3街道を地域の宝として、街道整備や文化遺産の継承、生活道路としての環境美化活動、地域間を結ぶ幹線道路を利用した地域連携イベントの開催などに取り組んでいる。限られたメンバーによる地道な活動は、来訪者や関係人口の拡大などによる地域の活性化や地域の世代を超えた交流の場として機能している。

ながと大内湯けむり街道協議会

<対象となる社会資本>

主要地方道下関長門線、赤間関街道北道筋 他

※管理者:長門市





地元住民や小学生と植栽活動を実施



ガードパイプを「八頭ブラウン」へ塗り替え

<活動内容>

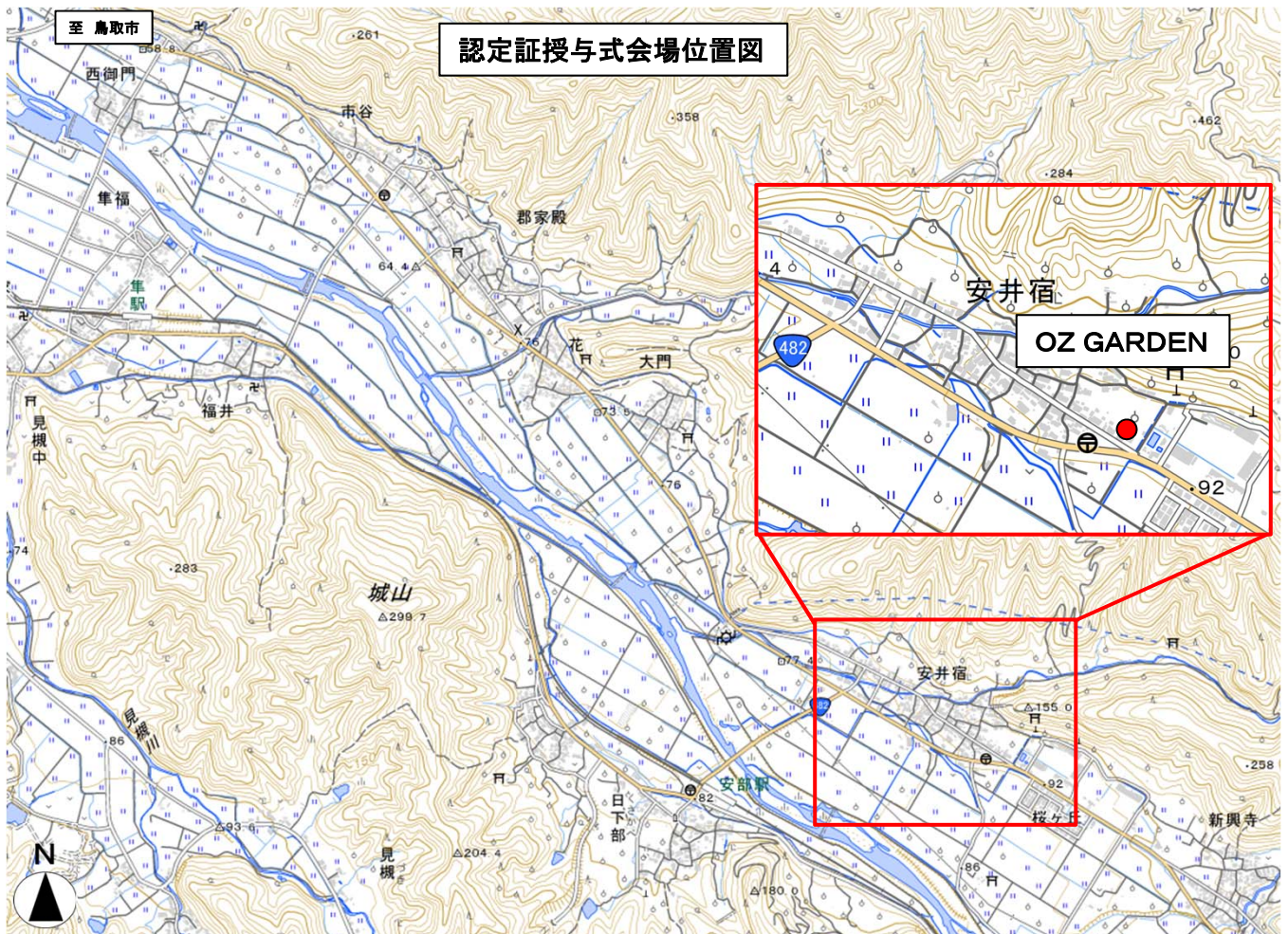
国道29号線沿線の活気を取り戻したいと、各県・各町・人々のつながりを大切に、地域の魅力発信や、通りたくなる美しい景観のある道にしていこうと同じ思いを持った3人が集まり結成。平成13年より若桜町や八頭町の沿線にセージの花を植える活動を開始し、景観美化活動や沿線の魅力発信マップを作成し配付を行っている。また、平成28年からガードパイプの八頭ブラウンへの塗替などの景観形成活動も行っている。地元小学生や地域の方と一緒に沿線の清掃・花植えや、沿線の歴史を学ぶ街歩きイベントを行うことにより、地域資源の魅力向上や沿線活性化に寄与している。

R29活性化委員会

<対象となる社会資本>

国道29号

※管理者:中国地方整備局 鳥取河川国道事務所



認定証授与式会場位置図

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和6年度で39回目。

【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

【一般部門】

はじめて受賞する団体を対象とした部門

(参考)手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています。
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（令和6年度）

委員長	野澤 康	工学院大学 建築学部まちづくり学科 教授
委員	小浦 久子	奈良文化財研究所 文化遺産部 景観研究室 客員研究員
委員	斉藤 俊幸	イング総合計画株式会社 代表取締役／地域再生マネージャー
委員	坂元 英俊	一般社団法人 地域観光研究所 代表理事
委員	真田 純子	東京科学大学 環境・社会理工学院 教授
委員	西村 浩	株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役

(敬称略)